

## 令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・どの学年も主体的に授業に参加し、意欲をもって制作に取り組んでいた。
- ・ICT教材を活用した授業課題の導入や、技能面の補助動画等の活用により、生徒の授業の理解の促進、個別最適な指導が行えた。生徒が個々の考えを深め、よりよい表現に繋がるような指導を行うことができた。
- ・昨年度もほとんどの生徒が清陵祭展示に展示をすることができた。

#### (2) 課題

- ・生徒の価値観や社会傾向に合わせて課題の見直しを行い、より生徒の考えが表現できるような教材を検討する必要がある。
- ・用具の使い方や技法などを理解できない、構想するのが苦手意識のある生徒に対して、個別指導以外での手立てを検討し、より多様な指導や手立てが必要である。
- ・ICTのさらなる活用を目指し、授業内容や補助教材を再検討していく必要がある。

### 2 授業改善のポイント

#### (1) 知識・技能

- ・ICTによる補助教材や動画教材などの種類を増やし、より多様な生徒が理解しやすく教材の振り返りがしやすいような授業改善を行う。
- ・引き続き丁寧で安全な個別指導を心がけ、生徒がより高度な知識・技能を身に付けられるような補助や副教材の考案を行う。

#### (2) 思考・判断・表現

- ・生徒が自身の思考を深め、表象し表現につながるような仕組みを再検討し、生徒の判断の補助になるような教材を検討していく。
- ・作品鑑賞を通して多くの考えに触れる機会を多く取り入れ、多様な価値観や新しい考え・発想・表現に出会い生徒自身に還元できる機会を設定する。

#### (3) 主体的に授業に取り組む態度

- ・生徒が自身の制作や作業計画を振り返り改善策を考えやすいワークシートの改良を重ね、見通しをもってスケジュールを管理しやすい媒体の考案をする。
- ・さらなるICTの活用をして、清陵祭展示以外でも学校全体で作品を共有できるような課題制作や展示発表に務める。